

休業保障制度を守るための 新しい署名にご協力ください

保険医協会は解散総選挙を控えたいま「休業保障制度」をはじめとした、自主共済の保険業法からの適用除外実現を目指し、新しい国会請願署名を開始します。

署名は、会員医療機関へ順次、発送しております。ぜひとも、皆様の理解とご協力をお願いいたします。今回の「請願署名」は先生はじめ、ご家族、お知り合い、職員、患者さんにも署名していただければ幸いです。



兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

214号
2009年1月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会神戸支部 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802



新年のご挨拶



支部長 田中 孝明

兵庫県保険医協会神戸支部の会員の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は協会神戸支部活動に御参加、御支援頂き、心より御礼申し上げます。さて昨年来、世界的な不況の波が日本経済に津波のように押し寄せ、連日マスメディアが派遣切りや生産カット等を報道しております。しかし、我々の医療業界も、ここ10年を振り返ってみましても、診療報酬は常に実質マイナス成長を余儀なくされ、理不尽な医療過誤訴訟、それによる医療バッシング、そして浮上してきた医師不足問題と常に逆風に苛まれておりました。これらの事項は早くから、おおよそ予想がついていたことで、まさしく国の失策と言っても過言ではないでしょう。また我々の神戸市に目を向けてみましても、中央市民病院の移転問題、神戸空港や医療産業都市計画等、どれをとってみましても疑問符がつくようなことばかりです。今年神戸市長選挙の年ということもあり、我々、保険医協会神戸支部は医療問題を軸に、神戸市政と向き合って参りたい所存であります。どうか保険医協会神戸支部の会員の皆様、海と山に囲まれた美しい神戸の、市民の健康と生活を守るべく、協会活動に御力をお貸し頂けないでしょうか。会員の皆様の今年一年の御多幸を祈りつつ、新年のごあいさつとさせていただきます。

投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマなどは問いません。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。

FAX 078 - 393-1802 または e-mail tamura@doc-net.or.jp 担当:田村まで

阪神・淡路大震災 メモリアル企画

大震災14年後の長田を歩く



震災直後の写真をみながら現在の長田を視察(左)
メモリアル集会は300人が参加(下)

まち、くらしの再建を

阪神・淡路大震災から14年になる1月17日、震災復興長田の会と復興兵庫県民会議が主催する「大震災14年後の長田を歩く みて・きいて・語ろう」が開催され、宮城、新潟などの被災地からの参加を含め130人が集まった。

協会からは、全国保険医団体連合会の住江憲勇会長をはじめ、事務局員ら20人が参加した。

参加者は、JR新長田駅南の新開発地域や、新長田駅北の区画整理地域、鷹取地区などを4班にわかれて歩き、復興の在り方について考えた。

JR新長田駅周辺は、区画整理が終了した今もたくさんの更地が残る。商店街ではシャッターが開まった建物に「テナント募集」の看板が目立ち、客足



のまばらな店舗が立ち並ぶ。参加者からは「ハコモノ開発を優先させた復興施策に疑問が残る」「どうすれば、以前のにぎやかな長田を取り戻せるか」などの意見がだされた。

午後からは、メモリアル集会「大震災14年長田のひと・まち・くらし」が開催され、会場いっぱいに300人が参加した。

※詳細は兵庫保険医新聞に掲載

ストップ神戸空港の会

署名100筆に

武村義人副支部長が代表をつとめる「ストップ神戸空港の会」は、「海上アクセスの中止を求める署名」を開始。現在約100筆が集まり、今後署名活動を広く行っていくことにしている。

会では神戸空港が開港した2月16日にちなみ、毎月16日に宣伝活動を行っている。

開港3年、節目の集会

2月22日(日) 14時～

神戸市立総合福祉センター

- 第1部 開港3年、神戸空港は今
・7路線からスタート、現在実質3路線に
・海上アクセスはただちに中止を
- 第2部 市民病院移転、究極の無責任

中央区社保協 08年度総会

神戸中央市民病院がなくなる!?

中央区社保協は2008年11月27日に勤労会館で総会を開催。武村義人副支部長を講師に、神戸中央市民病院移転問題について記念講演会を行い23人が参加した。

記念講演で武村先生は、同病院移転計画が医療産業都市構想とスーパー特区と連動して、医薬品・医療機器・医療技術の開発の道具にされようとしていることを解説。「中央市民病院のあり方、役割がますます市民から遠ざかる」ことを明らかにした。

武村先生は「ラジオ関西で先端医療に関する神戸市長、渡海文科相の対談で、一科学者が新しい医療が生まれるためには膨大な人体実験が必要と発言した」ことを紹介。「神戸市民が実験台になるということであり到底許すことができない」と指摘。「神戸市は現在すすめられている取り組みについて多くの市民に情報公開し市民の声を反映していく責任がある」と訴えた。



講師の武村先生

健康情報テレホンサービス



フリーダイヤル **0120-979-451**

<1月テーマ>

- 月曜日 60歳を過ぎてからの女性器出血
- 火曜日 歯医者を怖がる子どものために
- 水曜日 涙や唾液が出ない病気ーシェーグレン症候群ー
- 木曜日 いびきは病気? 睡眠時無呼吸症候群との関係
- 金土日 禁煙のススメ

